

# 麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園麓山の杜管理事務所  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17  
TEL024-924-2194 FAX024-924-2195

## 【出生に伴う記念樹交付の終了について】

郡山市にお住まいでお子さんが生まれた方に記念樹として樹木の苗木を1本プレゼントしておりましたが、平成25年度をもって終了しました。対象となる方で希望される場合は、申請期間内に申請されるようお知らせします。

プレゼント対象者	郡山市にお住まいの方で、平成26年3月31日までに出産した方。		
申請方法	申請書に添付して提出してください。(出生届の写しまたは母子手帳の写し)		
申請期間	出産後1年以内		
申請窓口	・ 21世紀記念公園 麓山の杜	024-924-2194	・ 各行政センター
	・ 郡山カルチャーパーク	024-947-1600	
	・ 郡山市都市整備部公園緑地課	024-924-2361	



## ガーデニングワポイント

### 【水やり】

5月も降水量が少なく乾燥した状態が続き、最高気温も真夏のような高さでした。引き続きこれからも、水分がとても必要になります。葉を広げ蒸散が盛んに行われるので、少しの雨では土壌はすぐ乾燥してしまいます。特に根が切れ植え替えをしたものは、強い日光を浴び風に吹かれるとすぐ萎れやすく、その後も水不足が続くと枯れてしまいます。乾いてきたら、たっぷりと樹冠全体にあげます。水をあげるタイミングは、表面の土の乾き具合を見て判断します。梅雨入りし、雨が降り出すような天候になれば、灌水も一休みになります。記念樹でも、葉が変色したと相談を受けました。水不足だけが原因とは断定できませんが、それでも一番に考えられるのが水分です。土壌条件が適さないと、いくら水をあげても根に届かないし、すぐ乾いてします。水の量は、根に届くまでたっぷりとあげます。暑い時は、日中の水やりは厳禁で、朝のうちにあげるのがベストです。水やりは、水分を根に届けると同時に新鮮な酸素を供給するのが目的です。根腐れとは、根に酸素が不足し、窒息状態のことです。



## 緑が濃くなり夏の花も咲き始めました

### 【肥料】

ツツジ類などは花後に、お礼肥として緩効性化成肥料をあげて、次の成長を助けます。また、生垣も刈込後にあげます。ただこれからは、肥料をあげすぎると柔らかく育ち、病虫害の抵抗力が落ちやすくなります。芝生には、この時期に芝生専用肥料をあげます。三要素がすべて8パーセントの化成肥料がむきます。何事も適期に適量が大事です。

### 【病害虫防除】

アブラムシやカイガラムシが発生しています。拡がる前に、殺虫剤などで退治しておくことが大事です。100%といきませんが、土壌に撒いて吸収移行して効果のある薬剤もあります。特に、草花などには向きます。イモムシ(ケムシ類など)も多く発生しています。その種類により、かぶれるなどの毒があるものもあります。脱皮した抜け殻などでも炎症がでますので、注意してください。例年の如く、アメリカシロヒトリも発生します。発生初期、かたまっているうちに退治します。松枯れの原因となるマツノマダラカミキリも成虫になって飛び始めます。スミチオン乳剤などを散布すると効果があります。黒星病やうどんこ病などの病気も発生しています。病気に対しては、発生前に予防薬を散布しますが、薬剤は使用方法を完全に守って下さい。

**【剪定】**

ツツジ類・アジサイ・ボタンなどは、開花後に花柄を摘み剪定をします。ツゲやマサキなどの生垣も刈込し、大きさをコントロールしておきます。5月25日の生垣づくりの講習会では、管理の仕方も行いました。キャラボクやヒバ類などの針葉樹もこの時期に行います。マツ類は新芽を摘んで、新たな芽を出すようにします。落葉樹は、弱めの剪定にとどめます。剪定をしすぎて、葉が極端に少なくなるような状態は、樹勢を弱め枯らしてしまう事もあります。

**【植え替え】**

常緑広葉樹は、新芽がまだかたまっていませんので適しません。梅雨入り後まで待ちます。落葉樹や針葉樹も適しません。秋口まで待つのが無難です。植え替えの適期は、植物により違いがあります。ただし鉢植えなどの場合は、この時期でも庭植えにする事は十分に可能です。草花も、夏秋花壇を彩る種類が店先に並んでいます。早めに植えて暑くなる前に成長させておきます。マルチングをして、泥はねを防ぐと病気の予防にもなります。土壌改良を行ってから植えてみてください。



【みどりのイベント】		※みどり講習会は、10:00~12:00開催。樹木医の先生がお答え致します。	
開催日時	教室名	内容	定員
6月15日(日) 10:00~15:00	記念樹交付及びみどり講習会	記念樹の育て方初歩講座（季節の管理ポイント） ・春から初夏に咲く樹木の花後の管理について ・薬剤散布(病気や害虫防除)	・記念樹申請者 ・受講希望者 無料

**5月のみどりの教室 <マツの剪定・生垣づくりの講習会>**

5月18日(日)にみどりの教室「マツのみどり摘みや除草剤について」を開催しました。関心のある方が多く参加されました。意外と簡単なのがみどり摘みですが、とても大事な作業です。除草剤については、なるべく使用しないのがベストですが、どうしてもという場合の参考例を提案させていただきました。また25日(日)には生垣づくりの講習会を行いました。6月もあります。右の写真は、**キンリョウヘン**という東洋ランの仲間です。この時期に開花しています。とても地味な花ですが、そこに集まっている生き物が何か、わかりますか。ニホンミツバチがたくさん寄ってきています。セイヨウミツバチは寄ってきません。不思議ですよ。このような、ちょっと面白い話題も載せていきます。



**街で見かけた植物 「アメリカハナズオウ」《フォレスト パンシー》**



マメ科ハナズオウ属の落葉低中木  
ハート形の新葉は、鮮やかな赤紫色が目をはびきます。季節と共に葉の色が変化し、それが楽しめます。3から5mに育ちますが成長は遅く、形を乱す枝を剪定していきます。接ぎ木で繁殖させる場合が多いので、台木から芽が出たときは切り取るようにします。春先に、紫の花がかたまって咲きます。葉の色を楽しむカラーリーフの代表品種です。緑の中にあると、いっそうその色が引き立ちます。陽当たりを好み、水はけが良く肥沃な土壌がむきます。手前の黄葉の品種はハイカントリーゴールドです。以前から植えられていた品種の葉はみどり色です。

